



今回のテーマ

# 授業を「みとる」「力を高める工夫

公開授業に対する視点やその深さは、参観する教師の力量や経験によってまちまちだ。教師一人ひとりが授業を分析する力を高めれば、事後研究会での議論が深まると共に、参観者とその授業の特長を自分の指導に取り入れることも出来る。今回は、教師が授業をみる目を養う工夫をしている事例を紹介する。

事例

高知県高知市立新堀しんぼり小学校

## 「みとりシート」で授業の流れや構造を捉え、事後研で討議

時系列の記録シートで  
授業の本質を捉える

高知市立新堀しんぼり小学校は、公開授業時の参観者への配布物や事後研究会の方法などを工夫し、教師の授業をみとる力を高めている。山中文恵校長は、その意義を次のように話す。

「子どもに確かな力を付けるには、教師一人ひとりの力量形成が必要です。ベテランも若手も共に力を伸ばせるような環境を整えてきました」  
公開授業では、どの教師も「みとりシート」に記入しながら参観する

(図1)。シートには「教師の発問・指示・評価」「児童の発言・反応・記述」「気づき・感想」の3つの欄を設け、参観者は授業で気になったことをそれぞれ時系列に沿って書く。この行為自体が、授業を構造的に捉える力を高めると考えて始めた。

研究主任の門脇綱先生は、「みとりシート」を用いる理由を次のように話す。  
「授業中の子どもは、発言が多くても深く考えていなかったり、逆に静かでも目標に向かっていたりすることがあります。授業を参観する時

には、子どもの表面的な姿をただ『みる』のではなく、『本当に子どもに力が付いているか』と、授業を深く分析する視点が求められます。本校では本質を見極めたいという願いを込めてシートを活用しています」

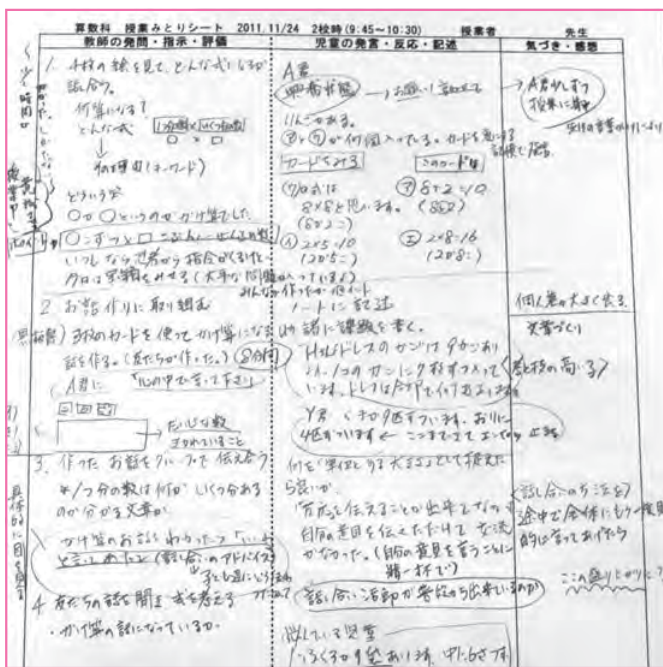
子どもを十分にみとるため、各児童の「関心・意欲・態度」「話す・聞く」「書く」「読む」それぞれの力を評価した座席表も配布する(図2)。6学年担任の川上確也先生は、このねらいを次のように話す。  
「誰にどのような課題があるのかひと目で分かるため、『課題に対し

てふさわしい指導をしているか』を判断しやすくなります」

事後研究会では、各教師が「みとりシート」への記入内容を基に、授業のポイントを付せんに書いて話し合う(図3)。このプロセスが、参観した授業の良い点や課題を端的にまとめる力の向上につながる。2学年主任の前田妙子先生は、事後研究会について次のように話す。

「授業を全員で討議し、良い面や課題などを示してくださいるため、授業研究の成果を自分のものにする上で非常に有益な場となっています」

図1 「みとりシート」



授業をみる力は教師の力量や経験などによって異なるため、「みとりシート」に記入される内容はさまざま。事後研究会では、その差異から議論が生まれやすくなる \*同校の資料をそのまま掲載

「みとりシート」は、Benesse教育研究開発センターのウェブサイトから加工可能な形式でダウンロードできます  
<http://benesse.jp/berd/>→情報誌ライブラリ(小学校向け)

図3 事後研究会の流れ

① 授業者の振り返り(5分)	授業者が本時授業で工夫したポイント、反省、感想などを述べる
② 付せん記入(10分)	参観者が「みとりシート」から特に発表したい内容を、「気づき・疑問」などの見出しと共に付せんに書き込む
③ グループ討議(20分)	付せんの内容を共有、グループ分けをしながら授業について討議する
④ グループ発表(20分)	各グループが討議した内容を全体で共有する
⑤ 授業者の見解(10分)	授業者が参観者の疑問や課題に対する意見などを述べる
⑥ 意見・感想(10分)	意見のある教師が発言。校長や研究主任が今後の方向性を示す



各グループの発表時は、授業中の板書をスクリーンに映し出す。必要に応じて参照しながら進めることで、どの場面での議論なのかをすぐに、詳しく確認できる

## School Data

### 高知県高知市立新堀小学校



◎1947(昭和22)年開校。高知県の名所・はりまや橋の近くに位置する。2009年より高知県教委の「目指せ! 教育先進校応援事業」指定校となる。14年度に追手前小学校と合併し、はりまや橋小学校となる予定。

校長 山中文恵先生  
 児童数 273人  
 学級数 14学級(うち特別支援学級2)  
 教員数 26人  
 所在地 〒780-0822  
 高知県高知市はりまや町2-14-8  
 TEL 088-882-0168  
 URL なし  
 E-mail shinbori-e@kochinet.ed.jp  
 公開研究会 未定

座席番号	関	△	座席番号	関	
	聞	○		聞	◎
	書			書	
	読	△		読	○

図2 座席表

全ての児童について、十分に満足できる状況には◎、満足できる状況には○、特に指導や配慮を要する状況には△を書く。担任が授業前に、参観する教師に指導案と共に配布する



前田 妙子  
 Maeda Taeko  
 高知市立新堀小学校の学年主任・人権教育主任  
 「公開授業をする際は、参観する先生の授業づくりのヒントになるように、自分なりの提案を必ず盛り込んでいる」



川上 確也  
 Kawakami Kakuya  
 高知市立新堀小学校6学年担任  
 「教師が良きコディネーターに徹し、子どもが主役になるような授業研究を皆で深めたい」



門脇 網  
 Kawasaki Kou  
 「先生方の力量やエネルギーは個々に異なるため、全員が納得できる方法を探しつつ、研究の道筋を立てている」



山中文恵  
 Yamataka Fumie  
 高知市立新堀小学校校長  
 「先生方が安心して授業改善に取り組めるような、活気があり、かつ落ち着いた学校づくりを心掛けています」

授業研究に学校全体で主体的に取り組むために「心掛けています」